【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第３区分
【発行日】平成19年11月29日(2007.11.29)

【公開番号】特開2007-78295(P2007-78295A)
【公開日】平成19年3月29日(2007.3.29)
【年通号数】公開・登録公報2007-012
【出願番号】特願2005-269371(P2005-269371)
【国際特許分類】
Ｆ２４Ｃ　15/06　(2006.01)
Ａ４７Ｂ　77/08　(2006.01)
Ｆ２４Ｃ　15/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ２４Ｃ　15/06　Ｂ
Ａ４７Ｂ　77/08　Ｂ
Ｆ２４Ｃ　15/00　Ｓ

【手続補正書】
【提出日】平成19年10月15日(2007.10.15)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
上方に設けられた天板開口穴と前面に設けられた前面開口穴を有するシステムキッチンに組み込む加熱調理器であって、
前記天板開口穴から挿入される加熱調理器の本体と、
該本体の上面に配置されたプレートと、
前記本体内に配置される加熱部と、
前記本体の左側に配置され、前記本体の前記システムキッチンへの設置後に前記前面開口穴に臨むロースター部と、
前記本体の右側に配置され、前記本体の前記システムキッチンへの設置後に前記前面開口穴に臨む開閉式の操作部ケースと、
前記本体の前記システムキッチンへの設置後に前記操作部ケースの前面に取り付ける化粧カバーと、を具備しており、
前記本体を前記システムキッチンに設置した後、前記操作部ケースの前面に前記操作部ケースと一体になるように取り付けられる前記化粧カバーは、前記操作部ケースの前面を覆うカバー部と、加熱調理器の前方外部と加熱調理器本体とが連通する空間を覆い塞ぐ延長部と、で構成された横長形状であることを特徴とする加熱調理器。
【請求項２】
請求項１に記載の加熱調理器において、
前記延長部は、右側のサイドピースを隠すように前記システムキッチンの右側壁面まで伸ばして形成されることを特徴とする加熱調理器。
【請求項３】
上方に設けられた天板開口穴と前面に設けられた前面開口穴を有するシステムキッチンに組み込む加熱調理器であって、
前記天板開口穴から挿入される加熱調理器の本体と、
該本体の上面に配置されたプレートと、

前記本体内に配置される加熱部と、
前記本体の右側に配置され、前記本体の前記システムキッチンへの設置後に前記前面開口穴に臨むロースター部と、
前記本体の左側に配置され、前記本体の前記システムキッチンへの設置後に前記前面開口穴に臨む開閉式の操作部ケースと、
前記本体の前記システムキッチンへの設置後に前記操作部ケースの前面に取り付ける化粧カバーと、を具備しており、
前記本体を前記システムキッチンに設置した後、前記操作部ケースの前面に前記操作部ケースと一体になるように取り付けられる前記化粧カバーは、前記操作部ケースの前面を覆うカバー部と、加熱調理器の前方外部と加熱調理器本体とが連通する空間を覆い塞ぐ延長部と、で構成された横長形状であることを特徴とする加熱調理器。
【請求項４】
請求項１または３に記載の加熱調理器において、
前記操作部ケースの左右側面に縦長のフランジが設けられるとともに、前記化粧カバーの前記フランジと対応した位置に受け部が設けられ、前記化粧カバーの受け部を前記操作部ケースのフランジに沿ってスライドさせて前記化粧カバーを前記操作部ケースの前面に取り付けることを特徴とする加熱調理器。
【請求項５】
請求項１または３に記載の加熱調理器において、
前記操作部ケースの左右側面に凹状の嵌合部が設けられるとともに、前記化粧カバーの前記凹状の嵌合部と対応した位置に凸状の嵌合部が設けられ、前記凹状の嵌合部と前記凸状の嵌合部を嵌合して前記化粧カバーと前記操作部ケースを一体的に固定することを特徴とする加熱調理器。
【請求項６】
請求項１または３に記載の加熱調理器において、
前記操作部ケースの左右側面に凸状の嵌合部が設けられるとともに、前記化粧カバーの前記凸状の嵌合部と対応した位置に凹状の嵌合部が設けられ、前記凹状の嵌合部と前記凸状の嵌合部を嵌合して前記化粧カバーと前記操作部ケースを一体的に固定することを特徴とする加熱調理器。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２０】
上述の課題を解決するために、請求項１の加熱調理器は、上方に設けられた天板開口穴と前面に設けられた前面開口穴を有するシステムキッチンに組み込む加熱調理器であって、前記天板開口穴から挿入される加熱調理器の本体と、該本体の上面に配置されたプレートと、前記本体内に配置される加熱部と、前記本体の左側に配置され、前記本体の前記システムキッチンへの設置後に前記前面開口穴に臨むロースター部と、前記本体の右側に配置され、前記本体の前記システムキッチンへの設置後に前記前面開口穴に臨む開閉式の操作部ケースと、前記本体の前記システムキッチンへの設置後に前記操作部ケースの前面に取り付ける化粧カバーと、を具備しており、前記本体を前記システムキッチンに設置した後、前記操作部ケースの前面に前記操作部ケースと一体になるように取り付けられる前記化粧カバーは、前記操作部ケースの前面を覆うカバー部と、加熱調理器の前方外部と加熱調理器本体とが連通する空間を覆い塞ぐ延長部と、で構成された横長形状とする。